



POLASTECH 株式会社

〒100-0004
東京千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル 3F 0Club
info@polastech.co.jp

プレスリリース

連絡先: 渡辺 雄也
電話: (090) 1461-7147

2026 年 3 月 23 日 10:00

POLASTECH、シードラウンドの資金調達を実施

— データセンター向け次世代排熱活用ソリューションの社会実装を加速 —

AHP(吸着ヒートポンプ)および高機能ゼオライト「AQSOA®」の開発・量産・販売を行う POLASTECH 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:垣内 博行)は、シードラウンドにおいて、UMI ベンチャーズ株式会社および三菱ケミカル株式会社を引受先とする J-KISS 型新株予約権の発行により、資金調達を実施したことをお知らせいたします。

■ 事業背景・ターゲット市場

2050 年に『排熱』のない社会を実現します

POLASTECH は、データセンターおよび産業分野における冷却エネルギーの革新を目指すディープテック企業です。私たちの吸着ヒートポンプ技術は、これまで捨てられてきた低温排熱を活用し、電力消費と CO₂排出を同時に大幅に削減します。実証済みの技術を基盤に、排熱利用の社会実装を加速しています。

当社は三菱ケミカル株式会社が保有してきた高性能ゼオライト「AQSOA®」および AHP 関連技術を戦略的に承継し、その社会実装を加速するためにカーブアウトにより設立されました。AQSOA®を中核材料とする吸着ヒートポンプ(AHP)を主力事業とし、生成 AI 時代に

～続く～

拡大するデータセンターの排熱問題を解決する次世代冷却ソリューションの開発・展開を進めています。

生成 AI やクラウド需要の拡大により、データセンターの電力消費は急増しています。特に、サーバーから発生する 50～60℃の低温排熱は十分に活用されておらず、冷却電力の増大や PUE (Power Usage Effectiveness) 改善の阻害要因となっています。

POLASTECH の AHP システムは、この低温排熱を直接エネルギー源として活用できる点が最大の特長です。従来の電力依存型冷却方式とは異なり、排熱そのものを駆動源として冷熱へ転換することで、

- ◇ 冷却電力の削減
- ◇ PUE の改善
- ◇ 排熱の再資源化
- ◇ 脱炭素経営への貢献

を同時に実現します。

さらに、近年台頭する液冷・液浸冷却方式とのハイブリッド構成にも適用可能であり、データセンター全体のエネルギー効率をさらに高めるソリューションとして展開を進めています。

今後、国内外のデータセンター事業者、設計会社、設備メーカー、エネルギー事業者との実証・共同開発を加速し、幅広いパートナーとの連携を推進してまいります。

■ 資金調達の目的

今回調達した資金は、以下の用途に充当いたします。

- ◇ AQSOA®の量産体制構築
- ◇ データセンター向け AHP システムの開発
- ◇ 実証試験および POC 拡大
- ◇ 国内外の事業開発・組織体制強化

■ 投資家コメント

・UMI ベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 山本 洋介

> データセンターの急拡大に伴い、排熱活用は世界的な課題となっています。

POLASTECH は、実績ある AQSOA®技術を基盤に、この課題に対する現実的かつ高効率な解決策を提示できる稀有な存在です。私たちは同社の技術力と事業構想を高く評価し、成長を全面的に支援してまいります。

・三菱ケミカル株式会社 常務執行役員 CTO 葛城 俊哉

> 当社が長年開発・保有してきた AQSOA®および AHP 関連技術が、POLASTECH を通じて新たな市場へ展開されることを大変意義深く感じています。特にデータセンター分野における排熱活用は今後重要性が高まる領域です。POLASTECH の機動力と専門性により、技術の社会実装が加速することを期待しています。

■ 今後の展望

POLASTECH は、材料技術とシステム技術を融合させることで、データセンターをはじめとするエネルギー多消費産業の構造転換を推進します。

未利用排熱を価値あるエネルギーへ転換することで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

■ 会社概要

会社名: POLASTECH 株式会社

所在地: 東京都千代田区

代表者: 代表取締役 垣内 博行

事業内容:

- ・高機能ゼオライト「AQSOA®」の製造・販売
- ・吸着ヒートポンプ(AHP)システムの開発・販売

URL: [HTTPS://POLASTECH.CO.JP/]